

「医療機器・福祉用具参入セミナー」

ヘルスケア・プロジェクト 山中 淳一

平成26年5月13日(火)、株式会社十六銀行、株式会社十六総合研究所、一般社団法人日本能率協会、株式会社日本能率協会コンサルティング共同主催による「医療機器・福祉用具参入セミナー vol.5～業界への接点づくりに向けた展示会の活用法～」を開催し、70名を超す方にご参加いただきました。

■当日の式次第

開会挨拶	十六銀行 法人営業部長 脇田 昌也 氏
第一部	「医療機器・福祉用具開発に利用できる企業向け施策のご紹介」 愛知県 産業労働部 産業振興課 次世代産業室 室長補佐 渡邊 治之 氏
第二部	講演 「事業化を加速する展示会徹底活用法 ～新規事業開発上のポイントと実践企業事例の紹介をまじえて」 日本能率協会コンサルティング 山中淳一
第三部	講演 「HOSPEX Japan 2014 ～医療業界参入を支援する「医療機器開発テクノロジー展」の活用の仕方」 日本能率協会 産業振興センター 第4グループ長 安江 あづさ 氏
	会場) 名古屋銀行協会 5階大ホール(愛知県名古屋市中区丸の内2丁目4番2号) 後援) 愛知県、中小機構中部、岐阜県工業会、岐阜県研究開発財団、岐阜県産業経済振興センター、大府商工会議所

■当日の講演内容・会場雰囲気 ～コンサルタントの目線から～

<第一部>

渡邊氏より、愛知県の健康長寿産業振興施策について、ご紹介をいただきました。愛知県では、平成17年度より、当該領域への支援として様々な施策を展開しています。特に今回のセミナーでは、特に平成26年度の事業計画の中から、医療機器分野および福祉用具分野(生活支援ロボット)の新規支援事業について、お話をいただきました。下記の3つ新たに新規の事業が始まります。

- ✓【新規】 医療機器製造販売業とモノづくり企業とのマッチング支援
- ✓【新規】 再生医療関連機器開発研究会2nd
- ✓【新規】 福祉用具の開発・実証評価支援

新領域への進出において、公的支援を受けることは、活動の加速化にもつながります。ご興味のある方は、愛知県 産業労働部 産業振興課HPにアクセスいただければと思います。

<第二部>

第二部前半では、私より、展示会を活用した事業化を加速するポイントを、企画、構想、実行の3つのフェーズに分けて、紹介をしました。特に、実施後のアンケートなどをみていますと、構想段階でのアイデア俯瞰図の作成について、皆様からの反応が良かったように思います。展示会の出展内容を俯瞰して整理すると、自事業の対象範囲を再確認し、見直すことができます。事業の構想フェーズは、事業の形を決める重要なフェーズですので、展示会などの外部情報を上手く活用していくことが重要です。アイデア俯瞰図について、ご興味ある方は弊社までお問い合わせください。

また、第二部後半では、前半の内容をふまえて、株式会社タナック様の展示会活用 実践事例をご紹介しました。展示会を上手く活用して着実に事業成果を上げているタナック様の取り組みは、展示会への出展を検討中の企業様に、また、展示会の活用方法を悩まれている皆様に、様々な気づきを与えたようです。

<第三部>

安江氏より、「HOSPEX Japan 2014」「医療機器開発テクノロジー展」の活用法を、昨年度の展示写真をまじえて、ご紹介いただきました。実際に展示会(見本市)に出展すると実際にはどういったメリットがあるのか、写真をまじえたお話に、多くの方が熱心にメモをとられていました。医療などのヘルスケア領域の来場者数は年々増えており、当該領域への関心の高さを改めて感じることができました。今年度のHOSPEX出展企業を現在募集中です。展示会を活用した事業化の加速をお考えの企業様は、ぜひお問い合わせください。

医療機器・福祉用具関連市場は、今注目を集めている市場だけあって、皆様の熱意が講演者側にも伝わってきました。今後も、セミナー情報等を随時発信してまいりますので、皆様ひきつづき宜しくお願いします。



【お問合せ】 株式会社日本能率協会コンサルティング

担当;ヘルスケア・プロジェクト 高橋

URL:http://www.jmac.co.jp

TEL.03-3434-0982 mail;healthcare_jmac@jmac.co.jp